

当院のボランティアコンサートの様子が紹介されました。

『米澤新聞』 2015年（平成27年）11月5日（木）

ハーモニが患者ら癒す 米沢市立病院でコンサート

入院患者に「癒し」を届けるボランティアコンサートがこのほど、米沢市立病院で行われ、大勢の人たちが耳を傾けた。

入院生活を送る患者やその家族たちを励ますようと、市立病院が主に市内の音楽団体を招いて年に3〜4回開催している。



清らかなハーモニを会場に響かせる「ブーケ」の会員たち

この日は、昨年9月に設立された米沢声楽研究会「ブーケ」（大類雅子代表）が初めて招かれ、歌謡曲や童謡など10曲を披露した。会員10人が清らかなハ

ーモニを病棟に響かせていた。

訪れた人たちは、うつりとした表情で耳を傾けていた。体を揺らしたり、歌詞を口ずさんだりして楽しむ姿も見られ、楽しいひと時を過ごしていた。

『米澤新聞』 2015年（平成27年）12月4日（金）

安らぎの音色響く 病院コンサート

米沢市のオカリナ愛好会「オカリナポップ」によるボランティアコンサートがこのほど、米沢市立病院で開かれ、患者ら約50人が楽しんだ。

コンサートは、入院患者や家族たちにも明るい気持ちになつてほしいと、市立病院が年に数回実施。8月と10月に続き、今年度3回目の開催となった。

この日はオカリナポップのメンバー12人が訪れ、童謡「もみじ」や歌謡曲など13曲を披露した。患者たちは一緒に口ずさんだり、体を揺らしたりしながらオカリナの優しい音色を満喫。1曲終了する



演奏を行うオカリナポップのメンバーたち

ごとに大きな拍手が沸き起こっていた。当初は11曲の予定だったが、「アンコール」にちなみ、2曲追加。最後は童謡「ふるさと」を全員で歌い、会場一体となつて盛り上がりつつあった。